

かつての援助国シンガポールが援助のパートナーへ

01

4月13日、JICAとシンガポール外務省は「ボランテア共同派遣」の実施に合意し、5月から両国のボランテアによる活動がベトナムで始まりました。

赴任先は、北東部のフート省セン村。同省で最も貧困率が高い地域の一つで、ベトナム政府から資金や機材の援助を受けながら、ヤシの葉で編んだ「ノン」というすげがさを生産して生計を立てています。しかし、技術は未熟で、販売先も近隣の市場のみに限られるため、十分な収入が得られていません。

ここで、JICAの青年海外協力隊員は市場の開拓を、シンガポール側のボランテアは生産技術とデザインの向上を中心に支援し、「ノン」を村の特産物として定着させ、ハノイなどの観光地で土産品として販売を目指していきます。

かつては日本の支援を受けていたシンガポールですが、1996年に経済開発協力機構(OECD)から援助卒業国として認められました。その翌年、日本と共に「21世紀のための日本・シンガポール・パートナーシップ・プログラム」を立ち上げ、東南アジア諸国連合(ASEAN)域内の経済格差の縮小などを目指して技術協力の枠組みづくりを実施。近隣の開発途上国から研修員を招いて第三国研修を行い、日本の技術の移転と普及に努めてきました。今回のボランテア共同派遣は同プログラム内の活動とし



ヤシの葉で「ノン」を作る村の女性

て初の試み。これからも、JICAとシンガポールはASEAN諸国の発展のための協力を共に展開していきます。

JICA国際協力エッセイコンテスト2010 作品募集!

02

JICAは、「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2010」の作品募集を開始します。今年のテーマは「行動〜地球の仲間のために、私たちができること〜」です。上位入賞者には副賞として、2011年の夏休みに約一週間、開発途上国でJICAの活動などを視察する海外研修旅行が贈られます。応募要項などの詳細はホームページ(<http://www.jica.go.jp/hioba/menu/essay/>)をご覧ください。

募集期間：6月16日(水)〜9月17日(金)  
 問：(社)青年海外協力協会  
 「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2010」係  
 TEL：03-3406-5274  
 Eメール：jica.essay@joca.or.jp

アフリカとスポーツをもっと知ろう!

03

まもなくアフリカ初のサッカーワールドカップが開催されます。これを記念してJICAでは、東京と愛知の地球ひろばでアフリカやスポーツについて楽しく知ることができるとイベントを開催します。

■東京・広尾

「KICK OFF AFRICA!」  
 アフリカの人々が普段使っている日用品やサッカー関連グッズの展示、ゲームなどを通して、ミニシアム開発目標(MDGs)のアフリカでの達成状況などを紹介。

【主な展示内容】

- ・アフリカの代表的なスポーツ
- ・サッカーやクリケット、ラグビーなど、アフリカで人気の高いスポーツを紹介。
- ・アフリカの今

サッカー大好き少年「ジャンボ君」の日常を通じ、教育や保健医療などアフリカの現状を伝えます。

・スポーツと国際協力

JICA、民間企業、NGOなどによるスポーツ分野の国際協力をパネルで紹介。

・ワールドカップ特設コーナー

アフリカのナショナルチームのユニホームやサポーターグッズなどを展示。

会期：9月5日(日)まで  
 平日10時〜20時／土日祝10時〜18時(最終日は12時まで、月曜休館)  
 場所：JICA地球ひろば  
 問：0120-767278  
 URL：www.jica.go.jp/hioba/

■愛知・名古屋

「Welcome! Africa!」

アフリカでスポーツ協力に取り組むNGOや青年海外協力隊の活動を紹介する写真展。民族衣装の試着や自分のサッカーユニホームをデザインするコーナーも。

会期：8月1日(日)まで  
 10時〜18時(最終日は16時まで、月曜休館)

「南アフリカ共和国展」

ワールドカップ開催国・南アフリカを写真やモノを通じて詳しく楽しく学べます。

会期：6月15日(火)〜23日(水)、7月6日(火)〜18日(日)  
 10時〜18時(最終日は16時まで、月曜休館)  
 場所：なごや地球ひろば  
 問：052-533-0121  
 URL：www.jica.go.jp/nagoya-hioba/



各国代表のユニホームや手作りサッカーボールなどさまざまなモノを展示(東京)